



第1回

文のじゅみ

日 分
時 分

それぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の()に適切な漢字を()から選んで、書き入れなさい。

① (飼う 買う 交う)

ア 発売されたばかりの本を()。

イ 学校でウサギとニワトリを()。

② (映す 移す 写す)

ア バスの時刻表を手帳に書き()。

イ 植木鉢を日向に()。

(2) 次の()と同じ読み方の漢字二字を書き入れなさい。

① ほけん

火災 () をかける。

けがをしたので、() 室に行く。

② さいげん

会議が() なく続く。

ビデオで試合を() する。

③ きちよう

ホテルでは() 品をフロントに預けるようにしましょう。

店の売り上げをノートに() する。

④ こうし

おじさんは大学の() をしている。

() の別なく物を大切にしよう。

(3) 次の漢字は同じ読み方をします。それぞれの漢字を使って短文をつくりなさい。

① やぶれた

破れた ()

敗れた ()

② おさめる

収める ()

修める ()

治める ()



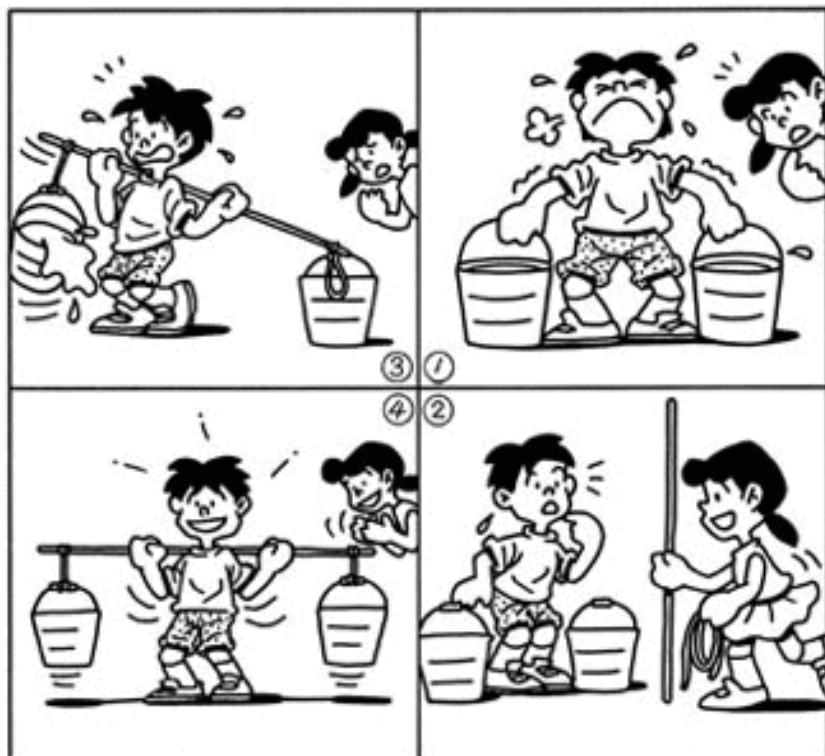
第1回

絵を見て

日 分
時 分
時

三

次の絵は、「てんびんのつりあい」について説明したものです。問いに答えなさい。ただし、バケツは同じぐらいの重さです。



(1) ①～④の絵を順をおって説明しなさい。

(句読点を入れて文にすること)

①

②

③

④

(2) 女の子がロープと棒を使うように言ったのはなぜだと思いますか。

(3) ③では片方しか持ち上がらなかったのに、④では両方が持ち上がったのはなぜですか。(句読点を入れて文にすること)



第1回

生活文を見て

(1)

日 分
月 時 分
時

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ああ暑い。草取りなんてつまらないなあ。」
夏になると、学校の仲良し農園にも、次々に草が生え始める。草取りをしないと農園に植えている作物が育たなくなるので、いやいやながらも草取り作業だ。

雑草は後から後から生えてきて、いやな植物だ。特に、メヒシバという草は、しつこく畑に生えてくる。夏の暑いときの草取りは、メヒシバなどの雑草とわたしの戦いだ。短い時間の草取りなのに、終わつたときには、もうくたくたで、どうして草なんかが生えてくるんだろ

う、生えてこなければいいのにと、何度思ったことだろう。
「雑草のくらし」という本を見たとき、わたしは、どうして雑草なんかを題材に本を作るのかなあと思った。A、なにかおもしろいことでも書いてあるのかもしれないと思って、読んでみることにした。

①この本は、ある空き地の五年間にわたる雑草の観察記録である。
B おどろいたのは、植物の様子がとてくわしく書かれていたことと、それを五年間もの間、ずっと観察し続けたことである。五年間、人間の手を入れずに放置しておく、毎年空き地の主になる植物が変わっていく。

わたしは、毎年雑草をぬいてしまうので、この変わり方には目を見張った。つるをいっばいにのばし、空き地一面におおいかぶさったカラスノエンドウは、子孫を増やそうと、たくさんの子孫を残してい

た。

次の年にはたくさん芽が出るはずなのに、C 次の勢力によってその主役の座からすべり落ちた。ここに自然の力強さ、きびしさを感じた。

(1) A、I、C にあてはまる言葉をア～ウから選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア もう イ でも ウ まず

A () B () C ()

(2) —線①「この」は何を指しますか。文中から六字でぬき出しなさい。

(3) この文章では、「ほっておくと雑草はどうなる」と言っていますか。文中からぬき出しなさい。

() () () () () ()

(4) この文章を次のように要約しました。次の空らんにあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

わたしは、雑草の () () を読み、その () () に目を見張った。ここに () () を感じた。



第1回

生活文を見て(2)

日 分
時 時

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いよいよ大根をつける日です。

母がおからを買ってききました。ざらめをにて冷ましたのを、おからに混ぜました。それから、やわらかい生の柿かきをつぶして混ぜました。五個入れました。①これがおいしくするひみつかなど思いました。これを三十分ぐらい置いてからかき混ぜると、おからがぬるぬるしました。これで大根をつけられます。

A、たるをあらって塩を量りました。塩は六百グラムです。大根は十七キログラム、おからは四キログラム、ざらめは八百グラムだそうです。

たるの中にビニルをしいて、おからを下にぬりました。B、大根を一列にならべて塩を少しふりかけて、おからをぬりました。これをくり返して半分ぐらいつけたら、ふりかける塩の量を多くしました。上に多くかけると塩が下に下がって行って、水分が出てC、よくなるそうです。上のほうになったら、おからもたくさんぬりつけて、大根が見えなくなるほどでした。そして、ビニルをかぶせてふたをして、もう一たる作ったのを重石代わりに重ねて、上のほうのたるには重い石を乗せました。

「昔は大根にさとうなんか入れないで、ぬかに柿の皮を入れて、塩は今の倍も入れたんだよ。そうしないと、冷ぞう庫もハウスもないからすっぱくなるので、塩からくして食べたんだよ。」と教えてくれました。

わたしは、大根をおいしくつけることは、ふつうのさとうではなく、ざらめを入れることと、おからに柿を入れることだと思いました。

(1) A、I、C にあてはまる言葉をア〜ウから選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア ちようど イ そして ウ まず

(2) — 線①「これ」は何を指しますか。
A () B () C ()

(3) この文章は四つの内容の段落だんかくに分けることができます。次の段落の初めの三字をぬき出しなさい。(句読点や符号はふくまない)

第二段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>	第三段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第四段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>

(4) この文章で、「昔は塩をたくさん入れた」のはなぜだと言っていますか。文中から一文をぬき出し、初めの五字を書きなさい。

(5) この文章を次のように要約しました。空らんにあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

わたしは、母が () をつけるのを見て、おいしくつけることは、() を入れた () () を入れることだと思った。